教科名	国語	科目	文学国語（文系進学）	単位	２単位

１．教科書および副教材

教科書：『精選論理国語』（東京書籍）〔高２から継続使用〕

副教材：『2027 共通テスト対策問題集　４国語現代文』（河合出版）

『改訂版入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500』（いいずな書店）〔高２から継続使用〕

『改訂版現代文キーワード読解』（Ｚ会）〔高２から継続使用〕

※他にも配布プリント（補助プリント、大学入試過去問改題プリント）を使用

２．授業の目標および内容

『2027 共通テスト対策問題集』を用いて、現代文読解の基礎・基本を確認しつつ、問題演習を行うことで実戦的な読解力を涵養します。それに加え、設問解説も行い、解答を導く際の着眼点についても教授します。また、教材に関連する語句について、『改訂版現代文キーワード読解』を用いて確認し、読解の助けとします。同時に、週１回程度『改訂版 TOP2500』による小テストを実施し、漢字語彙力を高めます。

学年全体で古典領域と総合し、基礎学力到達度テストにおいて全付属校における本校の平均偏差値が 53 以上となることを目標とします。また、他大学を目指す生徒が大学入学共通テストにおいて 70～80%以上の得点率が取れるように目指していきます。

なお、文系の文学国語では、文学的な文章を扱います。

３．試験について

	１学期		２学期	
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月
学力試験	第１回　６月		第２回　９月	

※内容・評価等について

① 定期試験：基本的には、使用テキストの授業範囲内のもので作題しますが、応用問題として初見の文章による出題もします。対象は、基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルで、100 点満点の試験を行います。

② 学力試験：基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルの出題です。国語常識、論理的な文章、文学的な文章等をバランス良く出題し、古典分野と合わせて 100 点満点で出題します。全てのコース・クラスで同一問題です。

４．課題・補習について

課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。

５．評価の視点

定期試験の得点を中心とし、平常点を加味し評価します。平常点は、授業への姿勢や課題の提出状況、授業中の小テストなどを参考に算出していきます。

授業計画

学期	教　　材	学　習　内　容	備　　考
1	〔文学的な文章中心〕 ○問題集を用いた演習	○人物像や挿入説明、場面転換と心情変化など、小説読解に必要な基礎的な技能を磨きます。 ○小説における理論として、場面と内面の同値、人物と人物の対比に注目して本文を読み進めることで、小説を客観的に読む能力を磨きます。 ○問題演習と設問解説を通じて、基礎学力到達度テストや大学入試に向けた実戦力を身につけます。 ○論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識を、小テスト等を通じて獲得します。 ○必要に応じて、近現代の文学史を復習します。	＊『TOP2500』によって基本的に週１回漢字語彙小ﾃｽﾄを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。 ＊『現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』によって小説語彙を増やし、考査で理解度を測る。
2	〔文学的な文章中心〕 ○問題集を用いた演習	○人物像や挿入説明、場面転換と心情変化など、小説読解に必要な基礎的な技能を磨きます。 ○小説における理論として、場面と内面の同値、人物と人物の対比に注目して本文を読み進めることで、小説を客観的に読む能力を磨きます。 ○問題演習と設問解説を通じて、基礎学力到達度テストや大学入試に向けた実戦力を身につけます。 ○論理的文章、文学的文章等を読解する際に必要な漢字語彙力、及び各テーマの知識を、小テスト等を通じて獲得します。 ○大学入学共通テストに向けて、韻文や詩歌などとの複数テスクトの問題などを生徒の実態に応じて取り入れます。複数テクストをどう読んでいくかについて復習しつつ、問題演習を通じて実戦力を身につけます。 ○大学入学共通テストに向けて、随想を読解する視点を獲得します。繰り返されるｴﾋﾟｿｰﾄﾞを重ね合わせるように読むことで、筆者の主張を的確に捉えます。	＊『TOP2500』によって基本的に週１回漢字語彙小ﾃｽﾄを実施する。その上で定着を図るべく、同範囲の漢字語彙について考査でも出題する。 ＊『現代文ｷｰﾜｰﾄﾞ読解』によって小説語彙を増やし、考査で理解度を測る。 ＊一次テスト以降は、状況に応じて教科書教材を用いる可能性もある。